

2020年卒
Vol.08

6月1日時点の就職活動調査〈速報〉

キャリアス就活2020 学生モニター調査結果 (2019年6月発行)

2020年卒業予定者の採用面接が今月1日に正式に解禁され、就職活動が山場を迎えている。6月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は7割を超える高水準をマークしたことがわかった。内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 6月1日時点の内定状況

- 内定率は71.1%。5月時点(51.1%)より20.0ポイント上昇
- 前年同期実績(65.7%)を5.4ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の43.9%。前年(35.2%)を8.7ポイント上回る。継続者は56.1%

2. 就活継続者の動向

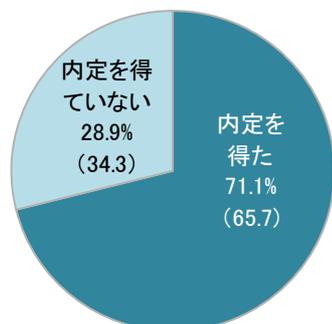
- 内定を得ても就職先を決めていない理由「本命の企業がまだ選考中」53.5%
- 未内定者のうち7割(71.5%)が「内定の見通しが立っていない」

1. 6月1日時点の内定状況

6月1日現在の学生モニターの内定率は71.1%。先月調査(5月1日現在)の51.1%から1カ月で20ポイント上昇し、7割を超える高水準となった。前年同期実績(65.7%)に比べ5.4ポイント高く、内定の前倒しが顕著だ。6月の内定率が7割を超えるのは2015年卒者以来だが(グラフは次ページ)、当時の選考解禁は4月だった。

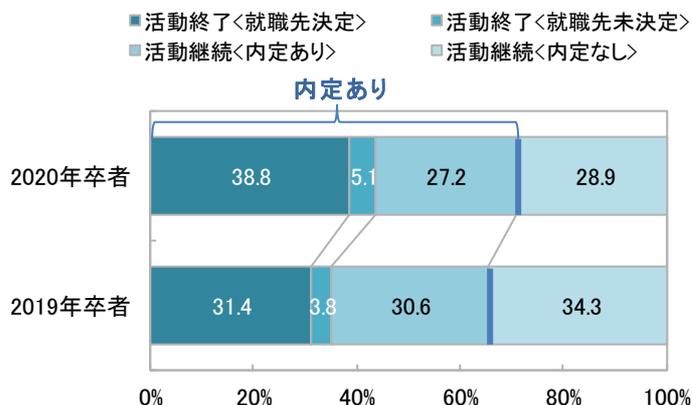
調査時点で就職先を決定して活動を終了した者の割合はモニター全体の38.8%。複数内定を保留しているなど未決定である者(5.1%)を合わせると、終了者は43.9%となる。前年同期(35.2%)より8.7ポイント上昇しており、終了のペースも早まっている。そのぶん継続者の割合は減少し、活動継続者は「内定あり」(27.2%)、「内定なし」(28.9%)を合わせて56.1%。

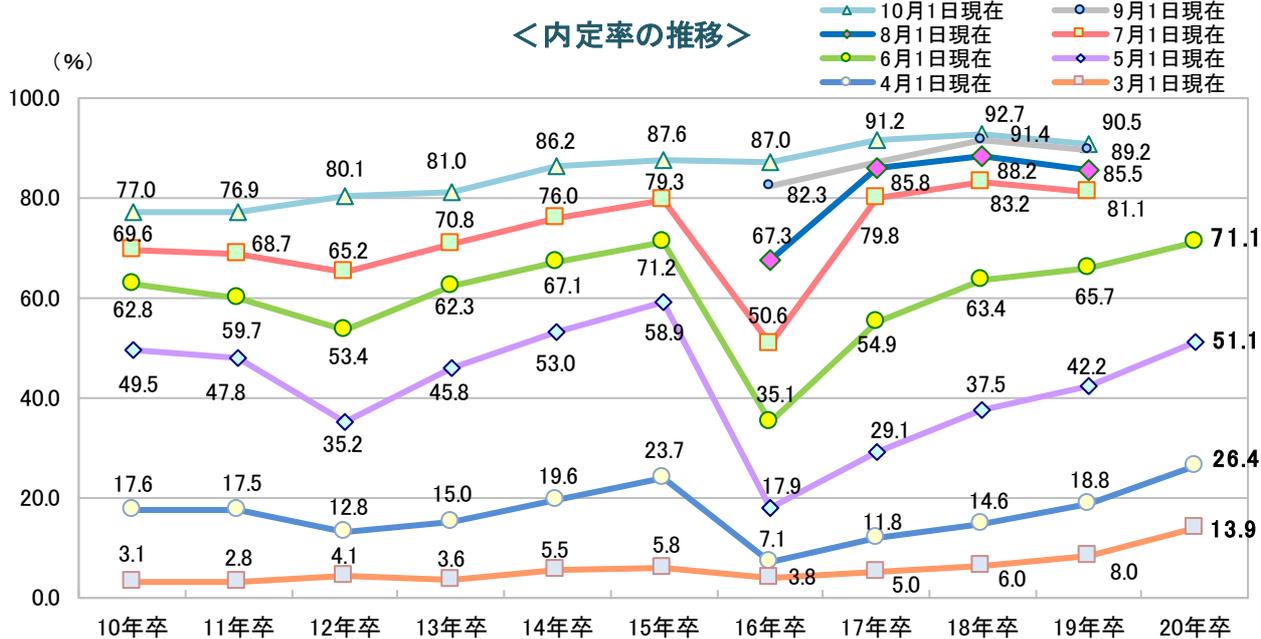
<6月1日現在の内定状況>



*「内定」には、内々定を含む
※()内は2018年の同調査での6月現在の数値

<6月1日現在の活動状況の分布>

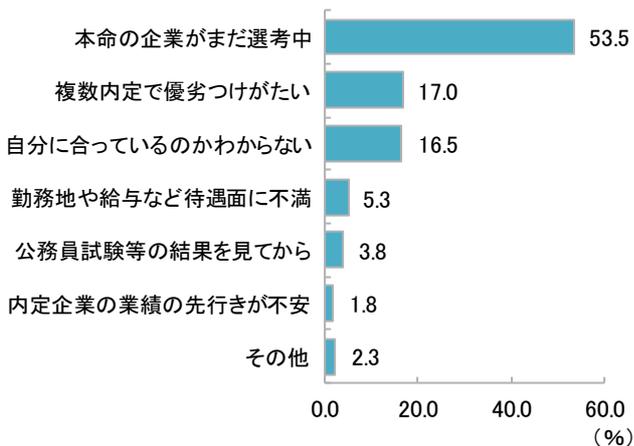




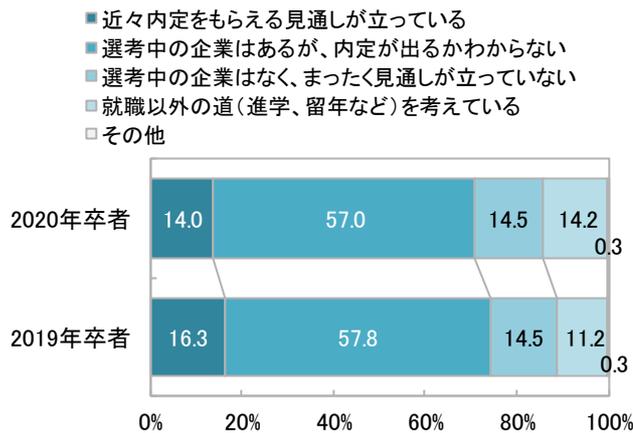
内定取得学生のうち就職先を決めていない者にその理由を尋ねると、圧倒的に多いのが「本命の企業がまだ選考中」で半数を超えている (53.5%)。本命企業の結果次第という状況だ。

一方、未内定の学生には内定獲得の見通しを尋ねた。「近々内定をもらえる見通しが立っている」は1割強(14.0%)にとどまり、最も多いのは「選考中の企業はあるが、内定が出るかわからない」(57.0%)。ここに「選考中の企業はなく、まったく見通しが立っていない」(14.5%)を足し合わせると71.5%になり、未内定者の7割強が先の見えない状況にあるようだ。

＜内定保持者が継続する理由＞



＜未内定者が内定を得る見通し＞



調査概要

- 調査対象 : 2020年3月に卒業予定の大学4年生 (理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数 : 1,261人 (文系男子406人、文系女子376人、理系男子331人、理系女子148人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2019年6月1日~5日
- サンプリング : キャリタス就活2020学生モニター (2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)